

# ホテルゆだなか

Hotel Yudanaka  
(長野県山ノ内町)



外観

スキーへ行く際、前日夜から出発する人もいれば、当日朝早くに出発する人もいるであろう。前者の場合、車やバスの中で仮眠することになるが、足を延ばしてゆっくりしたい人に朗報がある。

志賀高原周辺のスキー場へ行く場合、今回紹介する「ホテルゆだなか」が重宝できるはずだ。金曜の夜遅くに到着して、温泉に入った上で、部屋で一杯飲んでから、気持ちの良い布団で熟睡し、朝食をしっかりと食べた上で、スキー場を向かうことが可能になるからだ。その料金が驚愕である。我々取材班の場合、一人当たりたったの4,250円だったのだ。一般的なビジネスホテルよりも安い価格で、温泉と朝食付きなのだから、利用しない手はない。

さて、そのホテルゆだなかの風呂を紹介していこう。風呂は建物1階にある。ホテルのフロントと温泉のフロントは共用だ。日帰り入浴の場合は、券売機でチケットを購入しよう。フロント前は入浴後の休憩スペースになっており、マッサージ椅子や自販機がある。

脱衣室には籠とロッカー、洗面台、ドライヤーがある。ロッカーは100円を投入するタイプだが、投入した100円は戻ってこないので注意。

浴室に入ると階段がある。まるで、この階段を下りると、喝采を浴びるスターのような気分になれるかもしれない。左手には洗い場が9カ所ある。自閉式のサーモスタット混合栓であり、リンスインシャンプー、ボディシャンプーが具備されている。右手はサウナ。室内温度は82℃。定員は8人くらいだろうか。サウナの出入口近くには水風呂もある。

浴槽はいろいろある。まず、手前左はリラックスバス。浴槽の中に4つの木製の椅子が

沈められているが、どのように使用したらよいのかわからない。右手前は打たせ湯。4か所の椅子があるが、水流は全然強くない。中央にはかぶり湯とレストコーナー（休憩場所）がある。レストコーナーは高い位置にあるので、浴室内全体が見渡せ、休憩をしながら、さて次はどの浴槽に入ろうかなどと思考を巡らせることができよう。その右手は漢方延寿薬湯と呼ばれる薬湯だ。一番奥の左側が大きなトータルパーシャルバス。命名の理由が良く分からないが、源泉かけ流しの浴槽だ。右手はプレスバス。いわゆるマッサージ風呂であるが、円形をしており、中央から3方向にマッサージ流が出ている。他人と顔を合わせずにマッサージ流を楽しめるということであろうか。

浴槽の湯温は全体的にぬるめ。トータルパーシャルバスだけが適温となっている。私のお気に入りには薬湯。このぬるい湯温なら、かなりの長湯が可能だ。尚、露天風呂はない。

ホテルゆだなかの浴室で一点だけ注意事項がある。それは、浴室内の段差が非常に多いことである。足の不自由な方や、酔っぱらい客は入浴をやめておいた方が良いであろう。

ちなみに、ホテルゆだなかの湯は含硫黄－ナトリウム・カルシウム－硫酸塩塩化物温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、慢性皮膚病、慢性婦人病、糖尿病、きりきず、動脈硬化症、虚弱児童、やけどに効くという。

さて、今日から志賀高原で春スキーである。春の嵐「爆弾低気圧」が吹き荒れるとの過酷な天気予報であるが、今シーズン最後のスキーを有終の美で終わらせたい。ホテルゆだなかはそのスタート地点として最高の湯と眠りを提供してくれた。いざ出陣。

- **名称**：ホテルゆだなか
- **所在地**：長野県下高井郡山ノ内町湯田中温泉
- **電話**：0269-33-5888
- **営業時間（宿泊客）**：24時間営業、但し、7：45～10：00は清掃につき浴室は閉鎖、サウナは23：00まで
- **営業時間（日帰り客）**：4月～11月の平日は10：00～24：00、4月～11月の金曜、土曜、祝日の前日は24時間営業、12月～3月は24時間営業、但し、7：45～10：00は清掃につき浴室は閉鎖、サウナは23：00まで
- **定休日**：無休
- **通常入浴料**：宿泊者は無料、日帰り入浴は大人（12歳以上）500円、小人（3歳以上～12歳未満）300円、3歳未満無料
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2013年4月5日（金）、6日（土）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部